

1章 社会のなかの農業の役割

私たちの社会では、いろいろな職業の人たちがいます。農業もそんな職業の1つですが、農業が社会に果たす役割について考えてみましょう。

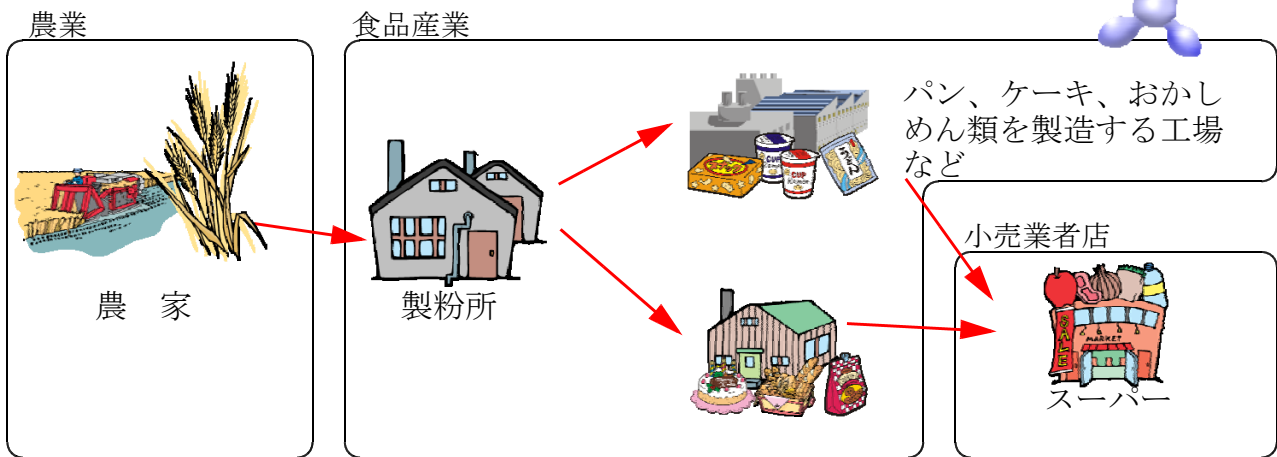
★ 植物ってすごい!!

緑色植物は、光のエネルギーを使って、二酸化炭素と水からデンプン等の炭水化物を作り出し、酸素を放出しています。このことを光合成といいます。光合成は動物では行うことができません。光合成で作られた炭水化物は、養分として蓄えられます。私たちは、これを食べ物として利用しています。

例えば、お店で買うことができるお菓子は食品工場で作られています。その材料は、植物が作り出した物を利用しています。

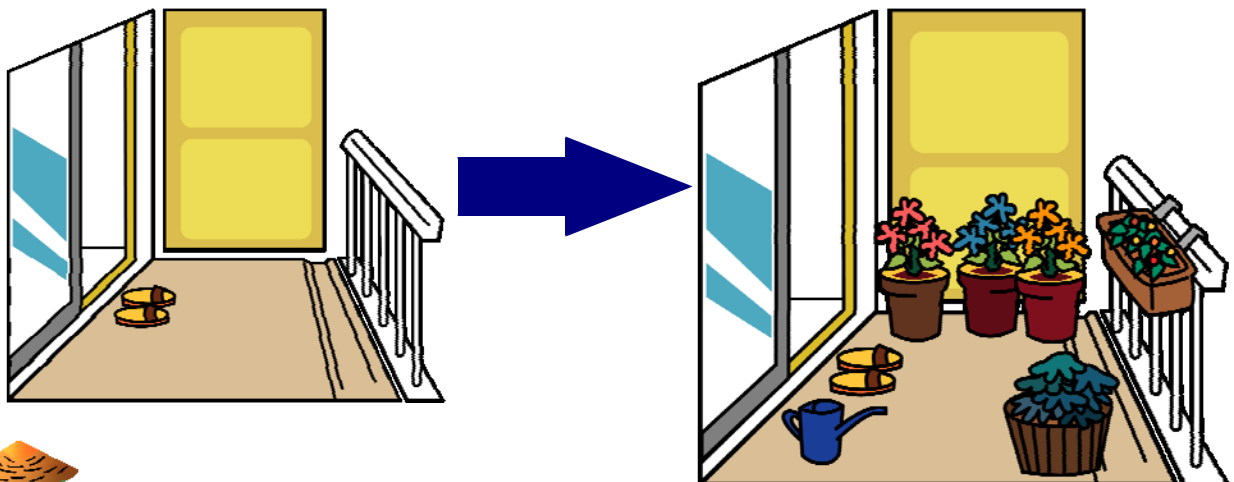


小麦の変化



★ 生活に潤いを与えています。

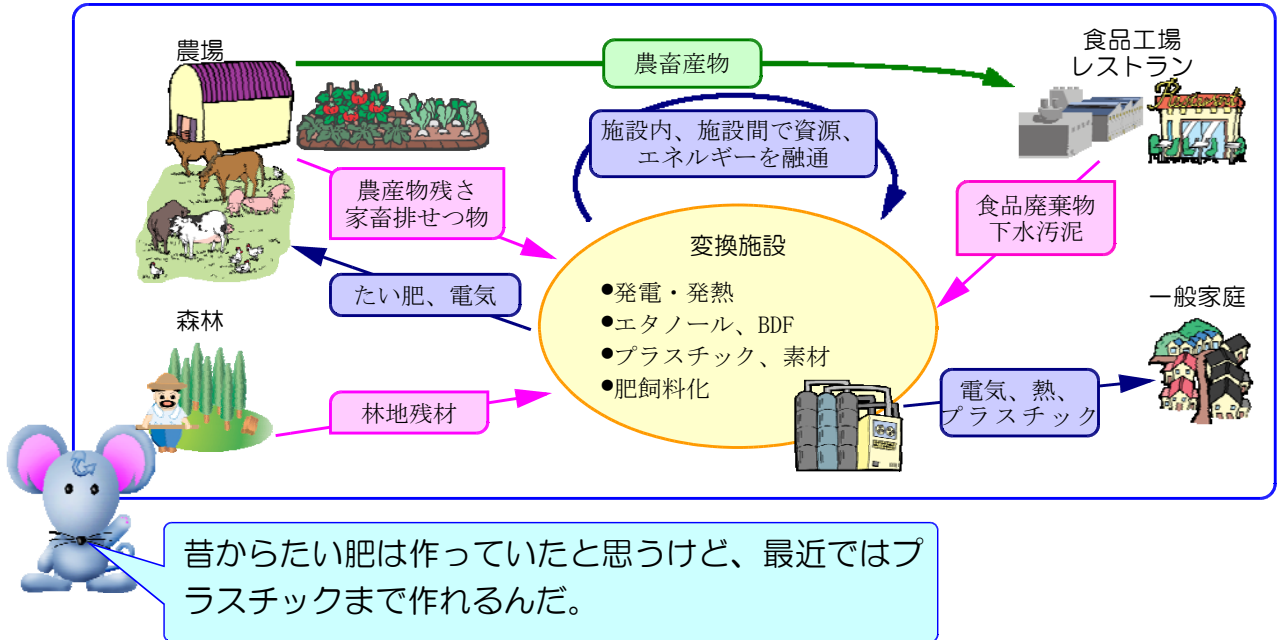
生きていくために必要な食べ物を作るだけが農業ではありません。心の成長や生活に潤いを与えてくれる花や木を作るのも農業です。



殺風景な空間も花などを置くとずいぶん変化するよね。

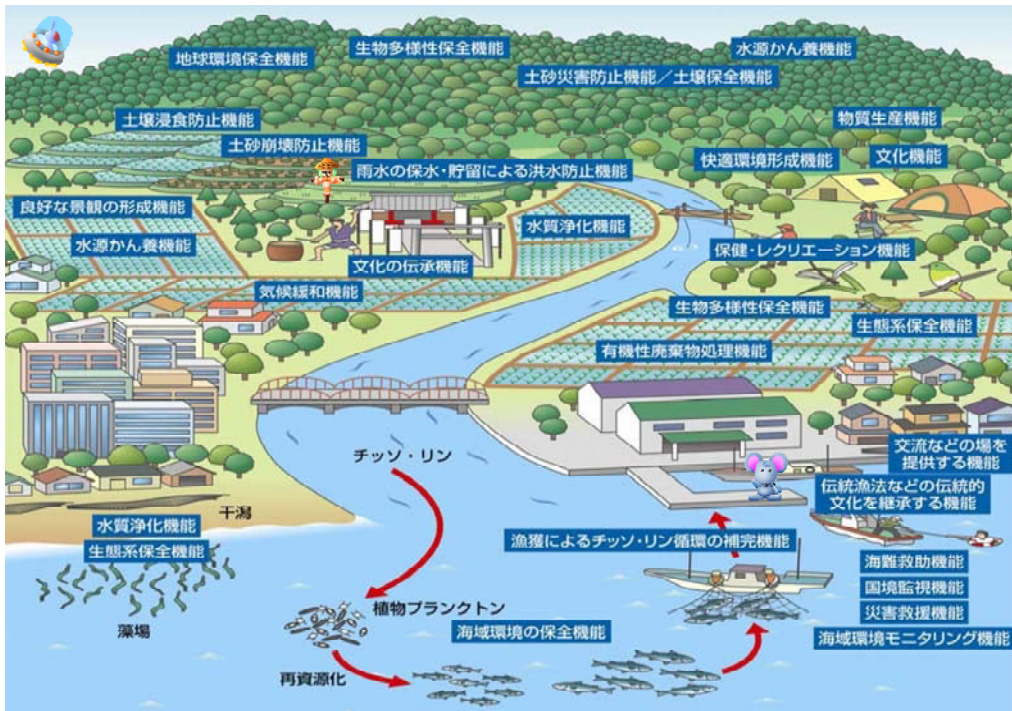
★ 新たな分野に貢献しています。

車を走らせるガソリンやプラスチックは、石油から作られています。地球に埋まっている石油等の資源には、埋まっている分だけしかありません。植物を発酵させてエタノールやメタンガスといった燃料やプラスチックも作られています。



★ 多面的機能を発揮しています。

農山漁村地域の中で農業は林業や水産業と相互に密接なかかわりを有し、特に農林水産業の重要な基盤の農地、森林、海域は、相互に密接にかかわりながら、水や大気、物質の循環に貢献しつつ、様々な多面的機能を発揮しています。



日本学術会議答申を踏まえ農林水産省で作成したものを改編